

金子兜太先生のふるさと投句

第二回特選・入選作品

選者 秩父郡市俳句連盟会長

金子 千侍先生

特選

訪ふ寺に型の古びし扇風機

茨城県取手市

今泉 卓也

講評

秩父のあるお寺を尋ねたときの作品。寺の建物や開祖のことなど拝覧しますと、本堂で、首を直立して風を送っている扇風機を見つけたのです。一目で相当古い型と感じました。何か予定外の発見(?)をしたようで、作者の心中に、今時のお寺の諸々事情までも想いおこさせたのでした。夏日の暑い寺を訪れて古型扇風機が、作者の感情を最も強く揺り動かしたのです。

天空の里に日傘や吟行会

深谷市

保坂 嘉郷

講評

皆野町・立沢地区(標高五百四十位)は、セカンドネームで「天空の里」と呼んでいます。こんな山の上の高い処、併し比較的平らで、日傘を翳して吟行会をしています。御伽(ごよみ)に出るような、ファンタジックなイメージを与えてくれる天空の里、「日傘」の季語に、何ともいえない口マンを感じます。

長命水百合の香ほのとのど仏

小川町

柿間 とし子

講評

「長命水」が岩の割れ目から渾渾と湧き出ています。前屈みになって両手に掬んで飲む冷たい美味しい水。喉仏を通る時、ほのかに添えられた百合の香り、ふと神秘的な酔いを感じたのでした。作者の健康的な、幸せそうなお顔が山百合を背景にして、目に見えるようです。

入選

大人の部

盆踊一挙一動真似をして
秩父音頭を見る少女の手の動く
花摘みて天空に憩ふ童かな
かなぶんは空蹴飛ばして消えにけり
天空の句碑寄り添いし月見草
いぬぶぐり札所参りの応援花
武甲山天辺欠けたかほととぎす
薫風の天空という傾斜畑
万緑や秩父に詩あり兜太おり
兜太句碑眺めつ秋の蚊を打てり
秩父線吾子運転や夏の駅
音頭と俳句のまらの麦青し
雛巢立て野鳥の寺の投句箱
猛暑にも地震にも耐える太字句碑
寄居トンネル通り抜ければ秩父風鈴

小人の部

朝焼けや秩父の歴史照らしだす
あさもやにぼんやりみえるふじのはな
アジサイは雨にぬれて光増す
秩父音頭おどり麦茶をいっき飲み
音頭祭り知ってる友がおどってる
夏来れば秩父音頭を思い出す
秩父路に観音巡りの人の波
清流の音に負けじとせみの声
夏の日に聞くと暑いよせみの声
荒川で見つけた沢ガニたからもの
夏の夜の皆野田野沢堂狩り
節電にすずみにおいで皆野町
きかんしゃの汽笛と共に桜咲く
音がして心うきうき音頭まつり

茨城県取手市 今泉 卓也
さいたま市 増田 信雄
東京都豊島区 竹下 光彦
秩父市 町田 ヨウ子
長瀨町 常木 周三
東京都北区 稲田 豊子
春日部市 川崎 康弘
長瀨町 野口 正士
群馬県邑楽町 金子 睦子
皆野町 栗原 茂次
皆野町 中村 つね子
小鹿野町 原島 勝子
皆野町 林 裕子
長瀨町 大前 英俊
熊谷市 小久保 近

さいたま市 鈴木 千尋(十五歳)
東京都立川市 ながいずみ あやの(八歳)
群馬県高崎市 須永 理恵子(十六歳)
皆野町 山口 拓臣(十歳)
皆野町 山口 麗(十一歳)
皆野町 小笠原ひかり(十二歳)
皆野町 小林 愛里(十一歳)
皆野町 橋本 悠作(十二歳)
皆野町 岡田 梨乃(十一歳)
皆野町 宮澤 春希(九歳)
皆野町 田島 風舞季(十一歳)
皆野町 黒澤 愛(十一歳)
皆野町 渡辺 美緒(八歳)
皆野町 関口 実怜(九歳)